

授業科目 身体障害作業療法評価学

【担当教員名】 大山峰生	対象学年	2	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

作業療法評価は治療目標の設定、作業療法プログラムの作成および治療効果の判定に不可欠である。本授業では身体障害における作業療法評価の基本的な知識の習得を目標とする。

<行動目標：S B O>

1. 身体障害作業療法における評価の意義について説明できる。
2. 一般情報収集の意義について説明ができる。
3. 各検査の意義と方法について説明ができる。
4. 代表的疾患に特有な検査・評価法について説明ができる。
5. 必要とされる検査の結果および情報を統合解釈し、病態を的確に把握することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	身体障害における作業療法評価総論	1	講義 大山
2	一般情報収集の意義。面接、観察手法	2	講義 大山
3	表面解剖、触診	3	講義 大山
4	関節可動域検査方法(上肢)	3	講義 大山
5	関節可動域検査方法(体幹)	3	講義 大山
6	関節可動域検査方法(下肢)	3	講義 大山
7	筋力検査方法(上肢)	3	講義 大山
8	筋力検査方法(上肢)	3	講義 大山
9	筋力検査方法(手指)	3	講義 大山
10	筋力検査方法(下肢)	3	講義 大山
11	筋力検査方法(下肢)	3	講義 大山
12	拘縮の診方、整形外科的疾患評価	3, 4, 5	講義 大山
13	感覚・知覚検査方法と結果解釈	3, 4, 5	講義 大山
14	深部反射、病的反射、脳神経検査方法と結果解釈	3, 4, 5	講義 大山

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	ダニエルズ新・徒手筋力検査法	Hislop, H, J他、津山直一訳	協同医書出版社	1996年 6500円
	ベッドサイドの神経の診方	田崎義昭・他	南山堂	1994年 7200円
参考書				
その他の資料	プリント			

【評価方法】 出席、期末試験	【履修上の留意点】 受講にあたり、骨、筋、神経系を中心とした解剖学的知識が要求される。
-------------------	--